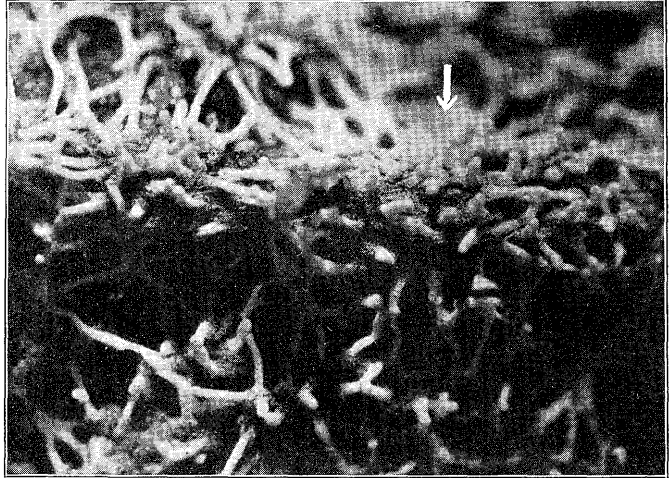


ノ標品ニハ、未ダ親シク接スルノ機會ヲ得ナイガ、偶々文中ニ var. *dentata* ヲ
 對照セラレタ
 ノデ、一ニハ
 後日研究家ノ
 錯迷ヲ避クル
 爲メト、又一
 ニハ南方氏ノ
 所見ノ空シク
 現ハレザルヲ
 惜シムノ故
 ニ、同氏ノ許
 諾ヲ經ズシ
 テ、氏ノ書信
 ノ一部ヲ茲ニ
 發表シタ次第
 デアル。變形



第 13 圖 *Cer. fruticulosa* ノ一部ニ var. *dentata* 型
 ノアルモノ (10 倍大)

菌ノ中ニハ、*Ceratiomyxa* 類ノミニ限ラズ、現在諸種ノ variety トシテ知ラル
 、者ニハ、之ヲ變種ト見ルベキ根抵ガ至ツテ薄弱デアツテ、南方氏ノ言ハル、
 如ク、forma トスルガ寧ロ至當デアラウト想ハル、者ガ少クナイ。又唯ニ變種
 ノミナラズ、別屬別種トシテ分類サレ居ル者ノ中ニモ、同一種ガ何等カノ發育
 條件ノ下ニ、聊カ其外觀ヲ異ニシタニ過ギナイノデアラウト考ヘラル、者モア
 ル、此等ハ將來其發育過程ガ明カニサル、ニ隨ツテ、漸次改定セネバナラヌ者
 デアラウ。

日本産たんぽぽ屬ノ研究（其三）

小 泉 秀 雄

H. KOIDZUMI: *Taraxacum* Studies in Japan. (III)

第三章 たんぽぽ屬ノ分類學的特徴（分類總論）

從來種屬ノ考究決定ニハ殆ド外形形態學的特徴ヲ基礎トシ鏡檢ノ範圍ハ「ル

ーペ」乃至解剖顯微鏡以下ノコトガ多カツタガ、余ノ考デハ此他ニ顯微鏡ノ使用モ内部形態學の特徴モ必要ナルベク、尙ホ特ニ以上ト並行シテ生態學の並ニ分布學の特徴ヲ重ク採用セネバ正確ヲ期シ難イモノト確信スル（余ハ之ヲ植物分類ノ三要素ト稱シ改メテ論述シタイ）、本屬ニ於テモ同様デ此三方面ヨリ研究考察ヲ必要トスル。

第一節 形態學の特徴（第 1—8 圖參照）

たんぽぽ屬ノ形態ヲ研究スルニハ先ヅ (A) 全相 ヲ考察シ、次ニ (B) 部分相 即チ根、莖、葉、花莖、頭花、果實ノ順ニ研究スルヲ可トス。

(A) 全相 ニ就テ觀察スベキ點ハ 1) 全株ノ大サ、即チ長サ巾サノ實積並ニ双者ノ比 2) 葉ノ總數並ニ生イ方、即チ位置及方向 3) 花莖ノ數及ビ葉トノ比較長 4) 頭花ノ大小並ニ色彩 5) 根ノ大小色彩 等デ概念ヲ得ル程度デアル又略シテ 1), 2), 4) ダケデモヨイ（第 1 圖 1. 及第 8 圖 26—33 參照）。

(B) 部分相 ハ根、莖、葉、花莖、頭花、果實ノ順ニ觀察ス。

I) 根 本屬ノ根ハ普通長大ヰ主根ハ顯著ニ發達シソレニ多少ノ支根ヲ發生スル。觀察ノ要點ハ 1) 長サ及太サ 2) 支根ノ大小及分岐狀態 3) 色彩 4) 根頭ノ分岐ノ有無及分岐頭數 5) 主根ノ形態 等デアル（第 1 圖 1—8 參照）。根ニハ他ノ部分ト共ニ乳管縱橫ニ通テキル（第 1 圖ノ 9 參照）。以上ノ中 3), 4) ハ分類上稍大切デ 1), 2) 之ニ亞グ。

II) 莖 本屬ノ莖ハ普通植物ニ比シ極端ニ短縮セルモノデ外部カラハ認メ得ナイ。然シ株ヲ二等分スレバ（第 1 圖ノ 10 參照）根ノ上端ニ當テ葉ヲ叢生スル部分ガアル、此所ハ莖ニ相當スル所デ葉腋ヨリ花莖モ抽出シテキル、理論的ニハ散生葉ノ極端接近相デアル（第 1 圖 10 並ニ 1—9, 11, 12 參照）。莖ハ分類上ニハ先ヅ無關係デアル。

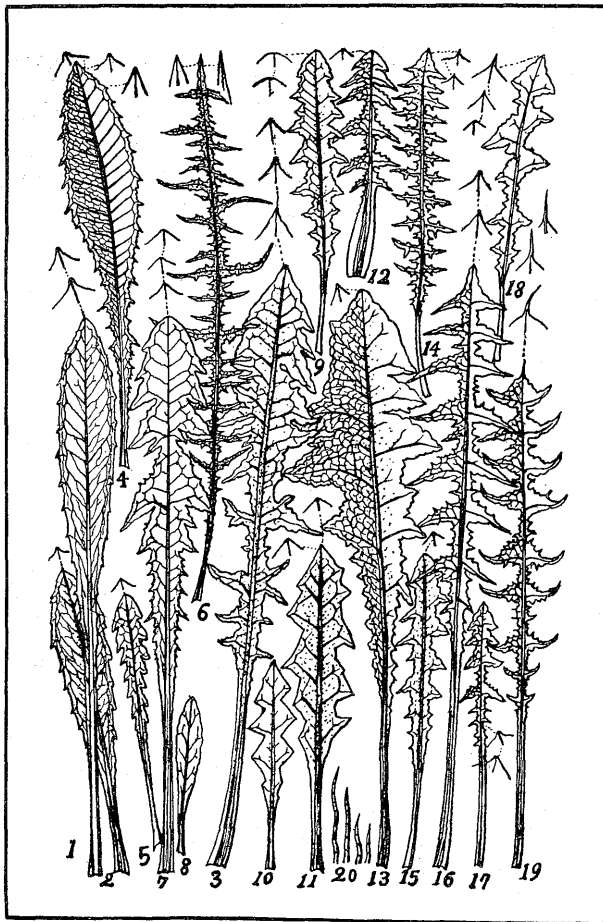
III) 葉 本屬ノ葉ハ各種共ニ變化多ク殆ド個體的ニ異ル故往々分類の價値ナキガ如ク説ク人モアルガ、實際ハ然ラズシテ精細ニ比較觀察スレバ、各種間ニ相互區別點ガアルコトガ明白デアル（第 2—3 圖參照）、即チ或範圍内ヲ變化スルダケデ無限ニ變化スルモノデハナイ。i) 葉形 ii) 葉質 ノ二ツニ分ケ分類上觀察スベキ要點ヲ次ニ列記スル（第 2—3 圖參照）。

i) 葉形 1) 葉ノ總數（即チ數ノ多少） 2) 内外葉ノ別（即チ最外葉、外葉、内葉ニ區別ス。甲ハ往々之ヲ缺キ又ハ半又ハ全然枯凋スルコト少クナイ） 3) 葉發生ノ方向（壓伏、開出、斜上、半直生、直生ノ別） 4) 葉ノ大サ（即チ長サト巾サノ測定） 5) 葉全形（長橢圓形、筵狀長橢圓形、倒卵狀長橢圓形、長橢圓狀

第 1 圖 たんぽぽ屬
Taraxacum ノ全形、
根ノ種類、根ノ組織、莖、
叢生(根生)葉脚、花莖ノ
種類(苞葉附着、分叉等
アリ)等ヲ示ス(小泉原
圖 H. Koidzumi del.)

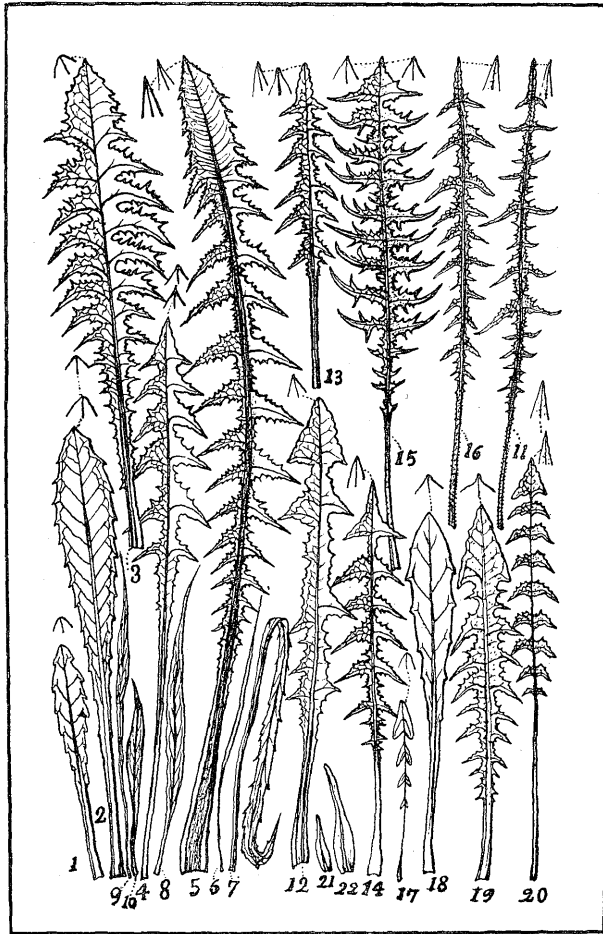
1) たんぽぽ *T. hon-*
doense ノ全形態、1/8
2) 同根ノ形態及叢生葉
脚、1/3 3) くもまたん
ぽぽ *T. yezoalpinum* ノ
根頭分岐(4頭)ノ狀態
並ニ叢生葉脚、1/3 4)
くわんせいたんぽぽ *T.*
japonicum ノ根ノ形態
(2頭)及叢生葉脚、1/3
5) かぶらばたんぽぽ *T.*
napiifolium ノ根ノ形態
及叢生葉脚、1/3 6) お
にたんぽぽ *T. sonchifo-*
lium ノ根及叢生葉脚、
1/7 7) きれはあかみた
んぽぽ *T. laevigatum* ノ
根及叢生葉脚、1/3 8)
たんぽぽノ根ノ上方一
部及横斷面、1/1 9) た
んぽぽノ根ノ組織(乳管
系アリ)、廓大 10) た
んぽぽノ根頭端及短縮
莖ニテ莖ニ葉及花莖ノ
密着セル狀態、2/3 11)
たんぽぽノ根頭端及叢
生葉脚並ニ花莖3ヶ、
内一本ハ下部ニ於テ切斷、1/3 12) くもまたんぽぽノ根頭端ト叢生葉脚ト其間ヨリ生ゼル
一本ノ花莖ノ蕾ヨリ結實ニ至ルマデノ花莖ノ運動ヲ示ス、左方低小ナルハ蕾時代、中間左ハ
開花時、左下方ニ彎曲セルハ落後ニテ結實中、最右上方ハ十分結實シ正ニ果實ヲ散布セン
トスルモノ、其直左方ハ既ニ果實ヲ飛散セシメシ後ニテ總花托ヲ裸出ス、……ノ順序ニ變化
ス、1/4 13) たんぽぽノ花莖ノ一部(横斷) 2/1 14) たんぽぽノ花莖ノ一部、縱裂ニ依リ裂
片ニ反捲性アルヲ示ス、1/1 15) ほそばおにたんぽぽ *T. sonchifolium* var. *latifolium* f.
gracile ノ花莖ノ一部(苞葉附)、1/2 16) ひろはたんぽぽ *T. longe-appendiculatum* ノ
花莖ノ一部(苞葉附) 1/2 17) ねむろたんぽぽ *T. yezoense* ノ花莖ノ一部(苞葉附)、1/3
18) みのたんぽぽ *T. minoense* ノ花莖ノ一部(苞葉附) 1/2 19) ひろはおにたんぽぽ *T.*
sonchifolium var. *latifolium* ノ花莖ノ一部、1/3 20) おにたんぽぽノ花莖ノ一部(苞葉
附) 1/3 21) けなしつのだんぽぽ *T. hondoense* var. *corniculatum* f. *glabellum* ノ花莖ノ
一部(2分岐、稀ニ分岐點下有苞葉ノコトアリ)、1/2 22) とゑぞたんぽぽ *T. yezoense* var.
nanum ノ花莖ノ一部(苞葉附)、1/3 23) 同上部廓大圖、1/1





第2圖 たんぽぽ屬 *Taraxacum* 各種ノ葉形ト葉先並ニ毛茸ヲ示ス (小泉原圖 江. KOIDZUMI del.) 但シ葉先ハ凡テ廓大 (3—5 倍)

1) 2) ながばつたんぽぽ *T. hondoense* var. *corniculatum* f. *longifolium* ノ葉 (1/3) ト葉先 3) たんぽぽ *T. hondoense* ノ葉 (2/5) ト葉先 4) ひろはおにたんぽぽ *T. sonchifolium* var. *latifolium* ノ葉 (1/4) ト葉先 5) せいやうたんぽぽ *T. officinale* ノ葉 (1/5) ト葉先 6) きれはせいやうたんぽぽ *T. officinale* f. ノ葉 (1/4) ト葉先 7) 8) にべそつたんぽぽ *T. nipesotsuense* ノ葉 (1/2) ト葉先 9) みのたんぽぽ *T. minoense* ノ葉 (1/3) ト葉先 10) 11) ちやちやだけたんぽぽ *T. vulcanorum* ノ葉 (1/2) ト葉先 12) あぞふじたんぽぽ *T. multiseriale* ノ葉 (1/7) ト葉先 13) かぶらばたんぽぽ *T. napifolium* ノ葉 (1/3) ト葉先 14) ししがしらたんぽぽ *T. filicinum* ノ葉 (1/3) ト葉先 15) うすぎたんぽぽ *T. shinanense* ノ葉 (1/5) ト葉先 16) あぞたんぽぽ *T. venustum* ノ葉 (1/2) ト葉先 17) あきひがはたんぽぽ *T. brachyphyllum* ノ葉 (1/3) ト葉先 18) しろばなたんぽぽ *T. albidum* ノ葉 (1/3) ト葉先 19) のげたんぽぽ *T. aristatum* ノ葉 (1/2) ト葉先 20) たんぽぽノ葉ノ毛 (廓大)



第 3 圖 たんぽぽ屬 *Taraxacum* 各種ノ葉形ト葉先並ニ苞狀葉ヲ示ス (小泉原圖 H. KOIDZUMI del.) 但シ葉先ハ凡テ廓大 (3—5 倍)

1) 2) えとろふたんぽぽ *T. vegetum* ノ葉 (1/4) ト葉先 3) きれはえとろふたんぽぽ *T. vegetum* var. *pinnati-partitum* ノ葉 (1/4) ト葉先 4) ねむろたんぽぽ *T. yezoense* ノ葉 (1/3) ト葉先 5) おにたんぽぽ *T. sonchifolium* ノ葉 (1/4) ト葉先 6) 7) おにたんぽぽノ苞狀葉 8) しろばなたんぽぽ *T. albidum* ノ苞狀葉 9) 10) あしぶとしろたんぽぽ *T. robustum* ノ苞狀葉 11) きれはあかみたんぽぽ *T. laevigatum* ノ葉 (1/2) ト葉先 12) まるはあかみたんぽぽ *T. laevigatum* f. ノ葉 (1/3) ト葉先 13) かんちあかみたんぽぽ *T. laevigatum* var. *frigidum* ノ葉 (1/3) ト葉先 14) はなたんぽぽ *T. nudicolum* ノ葉 (1/4) ト葉先 15) きれはゑぞたんぽぽ *T. venustum* ssp. *subbipinnatum* ノ葉 (1/4) ト葉先 16) きれはせいやうたんぽぽ *T. officinale* f. ノ葉 (1/2) ト葉先 17) かむさつかたんぽぽ *T. kamtschaticum* ノ葉 (1/1) ト葉先 (葉ノ小ナル個體) 18) みやまたんぽぽ *T. japonense* ノ葉 (1/3) ト葉先 19) けみやまたんぽぽ *T. japonense* f. *subpilosum* ノ葉 (1/2) ト葉先 20) ゆうばりたんぽぽ *T. yuparense* ノ葉 (1/3) ト葉先 21) 22) たんぽぽノ苞狀葉

倒披針形、筵形、筵狀倒披針形、倒披針形、狹倒披針形、披針形、線狀倒披針形、線狀披針形、線形ノ別) 最初ト最後ノ形ハ日本ニハ未發見。6) **葉先** (圓形、鈍圓形、鈍形、鈍銳形、銳形、銳尖形、微突銳形、芒形、長芒形、微突形、突形、等ノ別) 7) **葉脚** (楔形、長楔形、急挾搾楔形、銳形、銳尖形、楔狀截形ノ別) 8) **葉身** (普通前記ノ葉全形ト同一視セラル) 9) **葉柄** (長サト巾サノ測定、有翼無翼ノ別、翼ノ巾サト形狀即チ全緣、波緣、鈍齒緣、齒牙緣、細齒牙緣ノ別及毛茸ノ有無ト多少、主脈即中肋上ノ條線ノ數及毛茸ノ有無多少、上中下三部ノ廣サノ比較、特ニ下方基脚ノ形狀等) 10) **葉緣** (全緣、波緣、細波緣、皺波緣、細鋸齒緣、細齒牙緣、鋸齒緣、齒牙緣、缺刻狀鋸齒緣、同齒牙緣、缺刻緣、羽條裂緣、提琴狀羽裂緣、羽狀淺裂緣、同中裂緣、同深裂緣、同全裂緣ノ別 以上ニハ凡テ整不整及粗密ノ別アルモ多クハ不整ナリ、必要ニ應ジ區別ス) 11) **羽裂片** (全形ニ就テハ圓形、半圓形、橢圓形、半橢圓形、長橢圓形、半箭形、廣披針形、披針形、廣線形、線形ノ別、緣邊ニ就テハ全緣、波緣、細波緣、鈍齒緣、細齒緣、齒牙緣、細齒牙緣ノ別) 以上ニハ整不整及粗密ノ別アルモ多クハ不整、先端ニ就テハ前記葉先ト同一、方向ニ就テハ水平開出、半上向、上向、半下向、下向、半灣曲、鉤曲ノ別、下向ヲ又逆向ト云フ 12) **葉面** (表裏ニ就テ平滑、粗糙、糙澁、普通ノ別、毛茸ノ有無多少ノ別及毛茸ノ色彩ノ區別等) 13) **葉柄及葉脈ノ色彩**ニハ色彩上ノ變化アリ、紅紫色、紅赤色、紫色等及ソノ濃淡ノ別ガアル。14) **葉脈**ニモ變化アルモ一定ス。即チ橫直走、亞弓曲、弓曲、反亞弓曲、反弓曲、亞屈曲、屈曲、斜上等ノ別。以上ノ中 1), 2), 3), 5), 6), 9), 10), 11), 13)ノ八項目ハ分類上大切デアル。

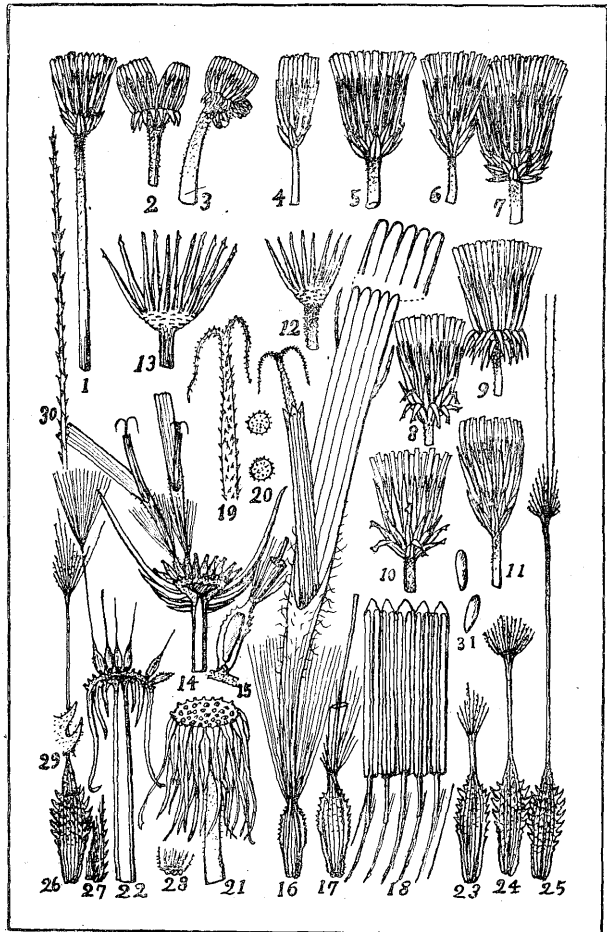
ii) **葉質** 1) **厚サ** (薄質、稍薄質、普通、稍厚質、厚質ノ別) 2) **硬サ** (柔軟、稍柔軟、普通、稍硬質、硬質ノ別) 3) **色彩** (淡綠色、綠色、深綠色、黃綠色ノ別、枯凋、半枯凋ノ葉ニハ綠褐色、褐色、汚褐色、黑褐色、黑色ノ別アリ) 4) **光澤** (有無ノ別、弱光澤、普通、強光澤ノ別) 5) **生枯** (花時生活ノ狀態ニ變化アツテ伸展シ生活旺盛ナルモノ、又ハ半枯狀ヨリ全枯狀ニ至ル差ガアル、又昨年來ノ枯葉ヲ伴フモノモ稀ニアル)。以上ノ中 1) 2), 3), 4)ノ四項目ハ分類上大切デアル。色彩ニ就テハ葉ノ表裏、葉柄、葉脈、毛茸、等ニ區別シテ觀察スベキデアル。

IV) **花莖** 花軸トモ稱シ數、長サ、太サ、色彩、發毛度等ニ變化アツテ分類上大切デアル。元來花莖ハ短縮莖ヨリ散生ニ發生セル枝デ、一本ノ場合モアル。觀察ノ要點ハ (第1圖 13-21 第4圖 1-10 參照) 1) **數** (1- ∞ ノ別) 2) **長サト太サノ測定** (長サハ別ニ葉長ト比較、太サハ全體變化少キカ、下部特ニ

第4圖 たんぽぽ屬
Taraxacum 各種ノ
頭花(頭狀花序)、頭花ノ
構造、舌狀小花ノ構造、
總果托、果實、冠毛等ヲ
示ス(小泉原圖 H. Kori-
DZUMI del.)

1) たんぽぽ *T. hon-
doense* ノ單頭花ト花莖
上部、1/2 2) まるはあ
かみたんぽぽ *T. laevi-
gatum* f. ノ雙頭花ト花
莖上部 1/2, 3) 同、三頭
花ト花莖上部 (1/3), 4)
かむさつかたんぽぽ *T.
kamichaticum* ノ頭花ト
花莖上部 (1/1), 總苞外列
片ハ 1 列壓伏 5) やま
たんぽぽ *T. rhodobasis*
ノ頭花ト花莖上部 (1/2),
總苞外列片 2 列壓伏 6)
ちやちやだけたんぽ
ぽ *T. vulcanorum* ノ頭
花ト花莖上部 (1/2), 總苞
外列片 2, 5 列壓伏 7)
えとろふたんぽぽ *T.
vegetum* ノ頭花ト花莖上
部 (1/3), 總苞外列片 3 列
壓伏乃至斜上散開 8) ね
むろたんぽぽ *T. yezo-
ense* ノ頭花ト花莖上部
(1/3), 總苞外列片 2, 5 列
散開斜上乃至半反捲 9)
きれはあかみたんぽぽ

T. laevigatum ノ頭花ト花莖上部 (2/3), 總苞外列片 2, 5 列全反捲 10) くもまたんぽぽ
T. yesoalpium ノ頭花ト花莖上部 (1/2), 總苞外列片 2 列散開斜上 11) ゆうばりたんぽぽ
T. yuparensense ノ頭花ト花莖上部 (2/3), 總苞外列片 2 列壓伏 12) みやまたんぽぽノ總苞内
列 (1 列) ト總花托ノ一部及葉莖上部 (1/2), 13) おぼたんぽぽ *T. giganteum* ノ總苞内列
(擬 1 列) ト總花托ノ一部及花莖上部 (1/2), 14) たんぽぽ *T. hondoense* ノ頭花縱斷面 (必
要以外省略)。上部ヨリ舌狀小花 (2 ケアリ舌狀花冠、柱頭、藥、冠毛、下位子房ヲ見ル), 總花
托、(内部倒圓錐空洞)、總苞内列 (1 列) 及同外列 (3 列)、花莖上部ヲ見ヨ、1/1 15) 同上
ノ舌狀小花ノ下部ト總花托ノ一部。上方ヨリ花柱下部、花冠管狀部下方、冠毛、花托、下位子
房、果托 (疣狀突起)、總花托 (後總果托トナル) ノ順ニ見ヨ、×3.5 16) 同上ノ舌狀小花。
上部ヨリ順ニ花冠舌狀部 (5 鈍齒、2 緣毛、6 縱脈ヲ見ル)、同管狀部 (兩者ニ亘リ花冠毛稍
密生)、柱頭 (2 分裂微細毛密生)、花柱上部、聚藥雄蕊 (5 藥ノ合一)、花絲ノ上端一部、冠



毛(萼ノ變形)、花托、下位子房ヲ見ヨ $\times 3,5$ 17) 同上ノ舌狀小花ノ下方。上方ヨリ順ニ花柱ノ中下部、花冠管狀部ノ下方、冠毛ノ一部、花托、下位子房ヲ見ヨ、 $\times 4$ 18) 同上ノ聚藥雄蕊ノ一部ヲ縱列開セシモノ。上方ヨリ藥隔、藥(粉囊)、花絲アリテ花冠管狀部ニ着生ス、 $\times 3,5$ 19) 同上ノ雌蕊上方、上部ヨリ柱頭(2分裂)、花柱上端、廓大 20) 同上ノ花粉(2ヶ)廓大 21) 同上ノ果實(瘦果)飛散後ノ總花托、 $\times 1$ 。上面ニ多數ノ疣狀突起ノ果托ヲ有シ、周側ニ宿存性總苞ヲ伴フ、又花軸上部ヲ見ル 22) 同上ノ縱斷面ヲ示ス、 $\times 1$ 。總花托上ニハ尙若干ノ瘦果附着ス、ソノ下方ハ順ニ果托(ノ疣狀突起)、總果托盤狀部、同倒圓錐形空洞、總苞内列、同外列、花莖上部(中空管狀) 23) 同上ノ幼キ瘦果、 $\times 4$ 。上方ヨリ順ニ冠毛ノ下部、冠毛托、果嘴(尙ホ短シ)、果ノ本部 24) 同上ノ成熟中途、 $\times 4$ 25) 同上ノ十分成熟セルモノ、 $\times 4$ 。上方ヨリ順ニ冠毛(大部分省略)、冠毛托、果嘴(最早十分ニ延長)、果頭、果體、果脚ノ3部ヨリ成ル 26) しろたんぼ *T. albidum* ノ瘦果、 $\times 4$ 。説明ハ前同 27) 同上果脚ノ一部(右側)、 $\times 15$ 。小棘列ヲ見ヨ 28) 同上果脚ノ下部。下端ニ小凹穴アリ、之ハ疣狀突起(果托)ノ嵌入スル所、左右ニ棘列アリ、 $\times 7$ 。29) 同上果體ノ棘狀突起。表面微刺ヲ帶ブ、 $\times 5$ 。30) 同上冠毛一本ヲ廓大ス、 $\times 10$ 。31) たんぼノ種子、 $\times 4$

太キカ、上部特ニ細キカノ別) 3) 方向(直生、稍直生、斜上、弓曲、半弓曲ノ別)但シ花時ニ區別スベキモノデ結實時ニハ往々種々ナル程度ニ弓曲又ハ彎曲スル故注意ヲ要ス(第1圖 12 参照) 4) 色彩(無色、殆無色、淡々綠色、淡綠色、綠色、淡々紅色、淡紅色、紅色、淡紅紫色、紅紫色ノ別、但シ以上ハ全體一樣ノコトト部分的ノコトガアル、5) 條線ノ數及ビ深サ(程度ニ變化ガアル) 6) 斑點(有無、場所、數ノ多少ノ別) 7) 分岐(有無、數) 8) 發毛度(上部乃至上端部トソレ以下ニ區別シテ觀察、上部一上端部ハ無毛、微毛、粗毛、稍密毛、密毛、粗綿毛、稍綿毛、密綿毛、稍密半毛、密羊毛、粗蜘蛛毛、稍密蜘蛛毛、密蜘蛛毛ノ別、往々毛筒トナリテ脱落、上部一上端部以下ハ無毛、微毛、粗毛、稍密毛、密毛、粗蜘蛛毛、稍密蜘蛛毛、毛叢斑生、稍密毛叢斑生等ノ別) 9) 苞狀葉又ハ葉ノ有無(苞狀葉又ハ葉アレバ其形態ヲ悉シク觀察) 10) 花時及果時葉長トノ比較長(多ク花時ニ於テ觀察、葉ヨリ頗ル短、葉ヨリ短、葉ヨリ長、葉ヨリ著ク長又ハ抽出、又ハ葉ト同長、葉ト同長内外等ノ別、果時ニ於ケル區別法モ前同様)以上ノ中 1), 2), 4), 8), 9), 10) ノ六項目ガ分類上大切デアルガ就中 1), 4), 8) ガ肝要デアル(第5圖 1-10 参照)。

V) 頭花 分類上最も大切ナル部分デ構造複雑ナレバ之ヲ頭花、總花托、總苞、總苞外列、同内列、舌狀小花ノ六項ニ區別シテ觀察スル必要ガアル(第4-8圖 21-25 参照)。

i) 頭花 正シクハ頭狀花序ト稱スル複花デ舌狀小花ナル單花ノ集合體デアル、普通花軸上ニ一ヶ宛着生シ總花托、總苞、舌狀小花ヨリ成立シ、總花托上

＝小苞ヲ欠キ其上面＝蓮果狀＝數多ノ臍突起ヲ有スル。1) **大サ** (長サト巾サノ測定、長サハ總苞底ヨリ周邊舌狀小花ヲ直立セシメ其先端マデノ長サ、巾サハ日照時＝於ケル頭花ノ開展セル時ノ最大横徑ヲ云フ) 2) **花色** (舌狀小花叢ノ色彩、白色、淡々黃白色、淡黃白色、淡黃色、黃色、硫黃黃色、深黃色、淡紅黃色、樺色、紅赤色、赤色等ノ別) 3) **咲キ方** (不整齊放射咲、稍整齊放射咲、整齊放射咲等ノ別) 以上ハ凡テ分類上 大切ナ點デアル (第 4 圖 1-11, 第 8 圖 21-25 參照)。

ii) **總花托** ハ花軸上部ノ肥大セル部分デ倒圓錐形ヲ呈シ内部＝同形ノ空洞ヲ有シ花軸内部ノ空洞管ト交通シテキル、其上面＝ハ數多ノ舌狀小花ヲ着生セシメ、側周邊＝ハ數多ノ總苞片ヲ着生シテキル、變化少ク分類上重要性＝乏シ、唯底部形狀ノ變化ハ重要ナルガ之ハ次ノ總苞ノ條下ニ述ブルコトトスル (第 4 圖 12-15, 21-22 參照)。總花托ハ後成熟シテ總果托トナリ多數ノ瘦果ト總苞トヲ着生セシメ所謂聚合瘦果ト成ル。此場合上面ノ疣狀突起ハ果托デアル。

(第三章未完)

をのへらんノ學名ニ就テ

澤田 武太郎

T. SAWADA: *Orchis Chondradenia* MAKINO pro synonymo novo.

最モ古ク且ツ正當ナル手續ヲ以テ發表サレタをのへらんノ學名ハ *Orchis Fauriei* FINET in Journal de Botanique XII. p. 340 (1898) デアルト思フ。
Orchis Chondradenia MAKINO: 植物學雜誌第十六卷第八十九頁 (1902) ハ現行命名規約上認メルコトハ出來ナイト考ヘラレル。牧野富太郎博士ハ命名法上絶對先主權主義ノ様ニ拜聞シテキルガ現行規約＝ハ階級先主權 Rank Priority ガ認メラレテキルノデアル。從ツテ、*Orchis Chondradenia* MAKINO ノ廣義ノ Name-bringing Synonym デアル *Chondradenia Yatabei* MAXIMOWITZ ex 松村任三: 帝國大學理科大學植物標品目錄第二百八十七頁 (1886) ノ屬名ヲ種名ニ移スコトハ階級先主權ノ上カラ云ヘバ新組合セ、Combinatio nova トナラズシテ新稱 Nomen novum ト見ルベキデアル。更ニ *Chondradenia Yatabei* MAX. ハ裸名 Nomen nudum デアルガ故ニ正當ナル手續ヲ以テ發表サレタト